



show diameter peer から show object-group ま で

- [show dot1x, 2 ページ](#)
- [show ip access-lists, 7 ページ](#)
- [show ip admission, 11 ページ](#)
- [show ip interface, 18 ページ](#)
- [show ip ssh, 28 ページ](#)
- [show ipv6 access-list, 30 ページ](#)
- [show mab, 34 ページ](#)
- [show mac-address-table, 37 ページ](#)

show dot1x

アイデンティティプロファイルの詳細を表示するには、特権 EXEC モードで **show dot1x** コマンドを使用します。



(注) Cisco IOS Release 12.2(33)SXI から、**show dot1x** コマンドは **show authentication** コマンドで補完されます。**show dot1x** コマンドは 802.1X 認証方式の使用に固有の出力を表示するために予約されています。**show authentication sessions** コマンドは、すべての認証方式と許可機能の情報の表示する、より幅広い権限があります。詳細は、**show authentication sessions** コマンドを参照してください。

show dot1x [**all** [**summary**]] **interface** *interface-name* [**details**] [**statistics**]

構文の説明

all	(任意) すべてのインターフェイスの 802.1X ステータスを表示します。
summary	(任意) すべてのインターフェイスの 802.1X ステータスのサマリーを表示します。
interface <i>interface-name</i>	(任意) インターフェイス名と番号を指定します。
details	(任意) インターフェイスの設定と、インターフェイスのオーセンティケータインスタンスを表示します。
statistics	(任意) すべてのインターフェイスの 802.1X 統計情報を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(11)AX	このコマンドが導入されました。
12.1(14)EA1	all キーワードが追加されました。

リリース	変更内容
12.3(2)XA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.3(2)XA に統合されました。
12.3(4)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.3(4)T に統合されました。
12.2(25)SED	認証ステータスのマシン ステータスおよびポート ステータス フィールドに <code>auth-fail-vlan</code> 情報が含まれるように出力の表示が拡張されました。
12.2(25)SEE	details キーワードと statistics キーワードが追加されました。
12.3(11)T	show dot1x コマンドの出力に <code>PAE</code> 、 <code>HeldPeriod</code> 、 <code>StartPeriod</code> および <code>MaxStart</code> フィールドが追加されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされません。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィーチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。

使用上のガイドライン

ポートを指定しない場合は、グローバルパラメータおよびサマリーが表示されます。ポートを指定する場合、ポートの詳細が出力に表示されます。



- (注) 802.1X 認証方式以外の認証方式が使用されている場合、一部の IOS バージョンでは、**show dot1x** コマンドで、`Port Status` コマンド出力フィールドに `AUTHORIZED` または `UNAUTHORIZED` 値が表示されない場合があります。`Port Status` フィールドに値が含まれていない場合は、**show authentication sessions** コマンドを使用して、`Authz Success` または `Authz Failed` ポートステータス認証値を表示します。

例

次に、**interface** キーワードと **details** キーワードの両方を使用した **show dot1x** コマンドの出力例を示します。次の例では、クライアントは正常に認証されています。

```
Router# show dot1x interface ethernet1/0 details
Dot1x Info for Ethernet1/0
-----
PAE                               = AUTHENTICATOR
PortControl                       = AUTO
ControlDirection                  = Both
HostMode                          = MULTI_HOST
QuietPeriod                       = 60
ServerTimeout                     = 0
SuppTimeout                       = 30
ReAuthMax                         = 2
MaxReq                            = 1
TxPeriod                          = 30
Dot1x Authenticator Client List
-----
```

```

Supplicant          = aabb.cc00.c901
Session ID          = 0A3462800000000000000009F8
  Auth SM State     = AUTHENTICATED
  Auth BEND SM State = IDLE

```

次に、**interface** キーワードと **details** キーワードの両方を使用した **show dot1x** コマンドの出力例を示します。次の例では、クライアントは認証に失敗しています。

```

Router# show dot1x interface ethernet1/0 details
Dot1x Info for Ethernet1/0
-----
PAE                      = AUTHENTICATOR
PortControl              = AUTO
ControlDirection        = Both
HostMode                 = MULTI_HOST
QuietPeriod              = 60
ServerTimeout           = 0
SuppTimeout             = 30
ReAuthMax                = 2
MaxReq                   = 1
TxPeriod                 = 30
Dot1x Authenticator Client List Empty

```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 1 : show dot1x のフィールドの説明

フィールド	説明
PAE	ポート アクセス エンティティ。 インターフェイスのロールを定義します (サブリカント、オーセンティケータ、またはオーセンティケータとサブリカントとして)。
PortControl	ポート制御値。 <ul style="list-style-type: none"> • AUTO : クライアント PC の認証ステータスは認証プロセスによって決定されます。 • Force-authorize : インターフェイスのすべてのクライアント PC が許可されます。 • Force-unauthorized : インターフェイスのすべてのクライアント PC が許可されません。
ControlDirection	IEEE 802.1X 制御ポートの制御が両方向 (入力と出力) に適用されるか、またはインバウンド方向 (入力) だけに適用されるかを示します。詳細については、「dot1x control-direction」、または Cisco IOS Release 12.2(33)SX1 より導入された authentication control-direction を参照してください。

フィールド	説明
HostMode	ホストモードがシングルホストまたはマルチホストかを示します。Cisco IOS Release 12.2(33)SX1以降では、マルチ認証かマルチドメインかについても示します。詳細については、「dot1x host-mode」、または Cisco IOS Release 12.2(33)SX1 より導入された「authentication host-mode」を参照してください。
QuietPeriod	クライアントの認証に失敗すると、秒単位で示された待機時間の経過後に、認証が再起動されます。
ServerTimeout	RADIUS に設定されたタイムアウトが再試行されます。802.1X パケットがサーバに送信され、そのサーバが応答しなかった場合、そのパケットは表示された秒数の経過後に再度送信されます。
SuppTimeout	サブリカント（クライアント PC）再試行に設定された時間。802.1X パケットがサブリカントに送信され、そのサブリカントが応答しなかった場合、そのパケットは表示された秒数の経過後に再度送信されます。
ReAuthMax	クライアント PC の自動再認証が開始されるまでの最大時間（秒単位）。
MaxReq	クライアント PC が 802.1X をサポートしていないと判断されるまでに、ルータからクライアント PC に送信する拡張認証プロトコル（EAP）要求/アイデンティティフレーム（応答が受信されないと想定）の最大送信回数。
TxPeriod	サブリカントの再試行のタイムアウト、つまり EAP アイデンティティ要求のタイムアウト。詳細については、「dot1x timeout tx-period」を参照してください。
Supplicant	クライアント PC または 802.1X クライアントの MAC アドレス。
Session ID	ネットワーク セッションの ID。

フィールド	説明
Auth SM State	クライアント PC の状態を AUTHENTICATED または UNAUTHENTICATED で示します。
Auth BEND SM State	IEEE 802.1X オーセンティケータのバックエンド ステート マシンの状態。

関連コマンド

コマンド	説明
clear dot1x	802.1X インターフェイス情報を消去します。
debug dot1x	802.1X デバッグ情報を表示します。
dot1x default	グローバル 802.1X パラメータをデフォルト値にリセットします。
identity profile	アイデンティティプロファイルを作成します。
show authentication sessions	現在の認証マネージャセッションに関する情報を表示します。

show ip access-lists

現在のすべての IP アクセスリストの内容を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show ip access-lists** コマンドを使用します。

show ip access-lists [*access-list-number*| *access-list-number-expanded-range*| *access-list-name*] **dynamic** [*dynamic-access-list-name*] || **interface** *name number* [**in**| **out**]

構文の説明

<i>access-list-number</i>	(任意) 表示する IP アクセスリストの数です。
<i>access-list-number-expanded-range</i>	(任意) 表示する IP アクセスリストの拡張範囲。
<i>access-list-name</i>	(任意) 表示する IP アクセスリストの名前です。
dynamic <i>dynamic-access-list-name</i>	(任意) 指定したダイナミック IP アクセスリストを表示します。
interface <i>name number</i>	(任意) 指定したインターフェイスのアクセスリストを表示します。
in	(任意) 入力インターフェイスの統計情報を表示します。
out	(任意) 出力インターフェイスの統計情報を表示します。

コマンド デフォルト

すべての標準および拡張 IP アクセスリストが表示されます。

コマンド モード

ユーザ EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
10.3	このコマンドが導入されました。
12.3(7)T	dynamic キーワードが追加されました。

リリース	変更内容
12.4(6)T	interface name と number のキーワードと引数のペアが追加されました。 in キーワードと out キーワードが追加されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.4(11)T	このコマンドが変更されました。 dynamic キーワードの出力例が追加されました。
12.2SX	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2SX トレインでサポートされます。このトレインの特定の 12.2SX リリースにおけるサポートは、フィチャセット、プラットフォーム、およびプラットフォームハードウェアによって異なります。
12.4(20)T	このコマンドが変更されました。このコマンドの出力が拡張され、オブジェクトグループを含むアクセスリストが表示されるようになりました。
Cisco IOS XE Release 2.5	このコマンドが、Cisco IOS XE Release 2.5 に統合されました。

使用上のガイドライン **show ip access-lists** コマンドの出力は、IP 固有であり、特定のアクセスリストを指定できるという点以外は **show access-lists** コマンドの出力と同じです。

例 次に、すべてのアクセスリストが要求されている場合の、**show ip access-lists** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show ip access-lists
Extended IP access list 101
  deny udp any any eq nntp
  permit tcp any any
  permit udp any any eq tftp
  permit icmp any any
  permit udp any any eq domain
```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明しています。

表 2: show ip access-lists のフィールドの説明

フィールド	説明
Extended IP access list	拡張 IP アクセスリストの番号。
deny	拒否するパケット。
udp	ユーザ データグラム プロトコル。

フィールド	説明
any	送信元ホストと宛先ホスト。
eq	特定のポート番号のパケット。
nntp	ネットワーク ニュース トランスポート プロトコル。
permit	転送するパケット。
tcp	伝送制御プロトコル。
tftp	Trivial File Transfer Protocol。
icmp	Internet Control Message Protocol (インターネット制御メッセージプロトコル)。
domain	ドメイン ネーム サービス。

次に、特定のアクセスリストの名前要求されている場合の、**show ip access-lists** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show ip access-lists Internetfilter
Extended IP access list Internetfilter
  permit tcp any 192.0.2.0 255.255.255.255 eq telnet
  deny tcp any any
  deny udp any 192.0.2.0 255.255.255.255 lt 1024
  deny ip any any log
```

次に、オブジェクトグループが含まれている特定のアクセスリストの名前要求されている場合の、**show ip access-lists** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show ip access-lists my-ogacl-policy
Extended IP access list my-ogacl-policy
  10 permit object-group eng-service any any
```

次の **show ip access-lists** コマンドの出力例は、ファストイーサネット インターフェイス 0/0 の入力統計情報を示します。

```
Router#
show ip access-lists interface FastEthernet0/0 in

Extended IP access list 150 in
  10 permit ip host 10.1.1.1 any
  30 permit ip host 10.2.2.2 any (15 matches)
```

次に、**dynamic** キーワードを使用した **show ip access-lists** コマンドの出力例を示します。

```
Router#
show ip access-lists dynamic CM_SF#1
Extended IP access list CM_SF#1
  10 permit udp any any eq 5060 (650 matches)
  20 permit tcp any any eq 5060
  30 permit udp any any dscp ef (806184 matches)
```

設定を確認するには、**show run interfaces cable** コマンドを使用します。

```
Router#
show run interfaces cable 0/1/0
Building configuration...
Current configuration : 144 bytes
!
interface cable-modem0/1/0
 ip address dhcp
 load-interval 30
 no keepalive
 service-flow primary upstream
 service-policy output llq
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
deny	パケットを拒否するネームド IP アクセス リストまたは OGACL の条件を設定します。
ip access-group	インターフェイスまたはサービスポリシーマップに ACL または OGACL を適用します。
ip access-list	IP アクセスリストまたは OGACL を名前または番号で定義します。
object-group network	OGACL で使用するネットワーク オブジェクトグループを定義します。
object-group service	OGACL で使用するサービス オブジェクトグループを定義します。
permit	パケットを許可するネームド IP アクセス リストまたは OGACL の条件を設定します。
show object-group	設定されたオブジェクトグループに関する情報を表示します。
show run interfaces cable	ケーブル モデムの統計情報を表示します。

show ip admission

ネットワーク アドミッション キャッシュ エントリと Web 認証セッションに関する情報を表示するには、ユーザ EXEC または特権 EXEC モードで **show ip admission** コマンドを使用します。

Cisco IOS XE Release 3SE and Later Releases

```
show ip admission {cache| statistics [brief| details| httpd| input-feature]} status [banners| custom-pages| httpd| parameter-map [ parameter-map-name ]]| watch-list}
```

All Other Releases

```
show ip admission {cache [consent| eapoudp| ip-addr ip-address| username username]} configuration| httpd| statistics [brief| details| httpd]| status [httpd]| watch-list}
```

構文の説明

cache	ネットワーク アドミッション エントリの現在のリストを表示します。
statistics	Web 認証の統計情報を表示します。
brief	(任意) Web 認証の統計情報の要約を表示します。
details	(任意) Web 認証の統計情報の詳細を表示します。
httpd	(任意) Web 認証 HTTP プロセスに関する情報を表示します。
input-feature	Web 認証パケットに関する統計情報を表示します。
status	バナー、カスタム ページ、HTTP プロセス、およびパラメータ マップなど、設定済みの Web 認証機能に関するステータス情報を表示します。
banners	Web 認証用に設定されているバナーに関する情報を表示します。

custom-pages	Web 認証用に設定されているカスタム ページに関する情報を表示します。 カスタム ファイルはローカル キャッシュに読み込まれ、キャッシュから実行されます。バックグラウンドプロセスは定期的にファイルを再キャッシュする必要があるかどうかを確認します。
parameter-map <i>parameter-map-name</i>	すべてのパラメータマップについて、あるいは指定したパラメータマップのみについて、設定されたバナーおよびカスタム ページに関する情報を表示します。
watch-list	ウォッチ リストに IP アドレスのリストを表示します。
consent	(任意) 承諾 Web ページのキャッシュ エントリを表示します。
eapoudp	(任意) UDP (EAPoUDP) ネットワーク アドミッション キャッシュ エントリを介した拡張認証プロトコルを表示します。ホストの IP アドレス、セッションタイムアウト、ポスチャの状態が含まれます。
ip-addr <i>ip-address</i>	(任意) クライアント IP アドレスに関する情報を表示します。
username <i>username</i>	(任意) クライアントのユーザ名に関する情報を表示します。
configuration	(任意) NAC 設定を表示します。 (注) このキーワードは、Cisco IOS XE Release 3.2SE 以降のリリースではサポートされません。 show running-config all コマンドを使用して、実行中の Web 認証設定と、デフォルト パラメータで設定されたコマンドを表示します。

コマンド モード

ユーザ EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.3(8)T	このコマンドが導入されました。
12.4(11)T	このコマンドが変更されました。このコマンドの出力が拡張され、AAA タイムアウト ポリシーが設定されているかどうかが表示されるようになりました。
12.4(15)T	このコマンドが変更されました。 consent キーワードが追加されました。
12.2(33)SXI	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SXI に統合されました。
15.3(1)T	このコマンドが変更されました。 statistics 、 brief 、 details 、 httpd 、および status キーワードが追加されました。
Cisco IOS XE Release 3.2SE	このコマンドが変更されました。 input-feature 、 banners 、 custom-pages 、および parameter-map キーワードが追加されました。 configuration キーワードが削除されました。

使用上のガイドライン

ネットワーク アドミッション エントリと、Web 認証セッションに関する情報を表示するには、**show ip admission** コマンドを使用します。

例

次に、**show ip admission cache** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show ip admission cache
```

```
Authentication Proxy Cache
```

```
Total Sessions: 1 Init Sessions: 1
```

```
Client MAC 5cf3.fc25.7e3d Client IP 1.150.128.2 IPv6 :: Port 0, State INIT, Method Webauth
```

次に、**show ip admission statistics** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show ip admission statistics
```

```
Webauth input-feature statistics:
```

	IPv4	IPv6
Total packets received	46	0
Delivered to TCP	46	0
Forwarded	0	0
Dropped	0	0
TCP new connection limit reached	0	0

```
Webauth HTTPd statistics:
```

HTTPd process 1	
Intercepted HTTP requests:	8
IO Read events:	9
Received HTTP messages:	7
IO write events:	11
Sent HTTP replies:	7

```

IO AAA messages:                4
SSL OK:                          0
SSL Read would block:           0
SSL Write would block:          0
HTTTPd process scheduled count: 23

```

次に、**show ip admission status** コマンドの出力例を示します。

```

Device# show ip admission status

IP admission status:
Enabled interfaces                1
Total sessions                   1
Init sessions                    1      Max init sessions allowed    100
  Limit reached                  0      Hi watermark                 1
TCP half-open connections        0      Hi watermark                 0
TCP new connections              0      Hi watermark                 0
TCP half-open + new              0      Hi watermark                 0
HTTTPd Contexts                 0      Hi watermark                 1

Parameter Map: Global
  Custom Pages
    Custom pages not configured
  Banner
    Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBAUTH
  Custom Pages
    Custom pages not configured
  Banner
    Type: text
      Banner                    " <H2>Login Page Banner</H2> "
      Html                      "&nbsp;<H2>Login&nbsp;&nbsp;Page&nbsp;&nbsp;Banner</H2>&nbsp;&nbsp;";"
      Length                    48

Parameter Map: PMAP_CONSENT
  Custom Pages
    Custom pages not configured
  Banner
    Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBCONSENT
  Custom Pages
    Custom pages not configured
  Banner
    Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBAUTH_CUSTOM_FLASH
  Custom Pages
    Type: "login"
      File                      flash:webauth_login.html
      File status               Ok - File cached
      File mod time             2012-07-20T02:29:36.000Z
      File needs re-cached      No
      Cache                    0x3AEE1E1C
      Cache len                 246582
      Cache time                2012-09-18T13:56:57.000Z
      Cache access              0 reads, 1 write
    Type: "success"
      File                      flash:webauth_success.html
      File status               Ok - File cached
      File mod time             2012-02-21T06:57:28.000Z
      File needs re-cached      No
      Cache                    0x3A529B3C
      Cache len                 70
      Cache time                2012-09-18T13:56:57.000Z
      Cache access              0 reads, 1 write
    Type: "failure"
      File                      flash:webauth_fail.html
      File status               Ok - File cached
      File mod time             2012-02-21T06:55:49.000Z
      File needs re-cached      No
      Cache                    0x3A5BEBC4
      Cache len                 67

```

```

Cache time                2012-09-18T13:56:57.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Type: "login expired"
File                      flash:webauth_expire.html
File status               Ok - File cached
File mod time             2012-02-21T06:55:25.000Z
File needs re-cached     No
Cache                    0x3AA20090
Cache len                 69
Cache time                2012-09-18T13:56:57.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Banner
Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBAUTH_CUSTOM_EXTERNAL
Custom Pages
Custom pages not configured
Banner
Banner not configured

```

次に、**banner text** コマンドを使用しして設定されたバナーに対する **show ip admission status banners** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show ip admission status banners
```

```

IP admission status:
Parameter Map: Global
Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBAUTH
Type: text
Banner                  " <H2>Login Page Banner</H2> "
Html                   "&nbsp;<H2>Login&nbsp;&nbsp;Page&nbsp;&nbsp;Banner</H2>&nbsp;&nbsp;"
Length                 48

```

次に、**banner file** コマンドを使用しして設定されたバナーに対する **show ip admission status banners** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show ip admission status banners
```

```

IP admission status:
Parameter Map: Global
Banner not configured

Parameter Map: PMAP_WEBAUTH
Type: file
Banner                  <h2>Cisco Systems</h2>
<h3>Webauth Banner from file</h3>

Length                 60
File                  flash:webauth_banner1.html
File status           Ok - File cached
File mod time         2012-07-24T07:07:09.000Z
File needs re-cached No
Cache                 0x3AF6CEE4
Cache len             60
Cache time            2012-09-19T10:13:59.000Z
Cache access          0 reads, 1 write

```

次に、**show ip admission status custom pages** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show ip admission status custom pages
```

```

IP admission status:
Parameter Map: Global
Custom pages not configured
Parameter Map: PMAP_WEBAUTH
Type: "login"
File                      flash:webauth_login.html
File status               Ok - File cached
File mod time             2012-07-20T02:29:36.000Z
File needs re-cached     No
Cache                    0x3B0DCEB4
Cache len                 246582

```

```

Cache time                2012-09-18T16:26:13.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Type: "success"
File                     flash:webauth_success.html
File status               Ok - File cached
File mod time             2012-02-21T06:57:28.000Z
File needs re-cached     No
Cache                    0x3A2E9090
Cache len                 70
Cache time                2012-09-18T16:26:13.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Type: "failure"
File                     flash:webauth_fail.html
File status               Ok - File cached
File mod time             2012-02-21T06:55:49.000Z
File needs re-cached     No
Cache                    0x3AF6D1A4
Cache len                 67
Cache time                2012-09-18T16:26:13.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Type: "login expired"
File                     flash:webauth_expire.html
File status               Ok - File cached
File mod time             2012-02-21T06:55:25.000Z
File needs re-cached     No
Cache                    0x3A2E8284
Cache len                 69
Cache time                2012-09-18T16:26:13.000Z
Cache access              0 reads, 1 write
Parameter Map: PMAP_CONSENT
Custom pages not configured

```

次の表に、上記の出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 3: show ip admission フィールドの説明

File mod time	ファイルがファイルシステムに変更されたときのタイムスタンプ。
Cache time	ファイルが最後にキャッシュに読み込まれたときのタイムスタンプ。

次の出力では、ルータに設定されているすべての IP アドミッション制御ルールを示します。

```

Device# show ip admission configuration

Authentication Proxy Banner not configured
Consent Banner is not configured
Authentication Proxy webpage
    Login page             : flash:test1.htm
    Success page           : flash:test1.htm
    Fail page              : flash:test1.htm
    Login Expire page      : flash:test1.htm
Authentication global cache time is 60 minutes
Authentication global absolute time is 0 minutes
Authentication global init state time is 5 minutes
Authentication Proxy Watch-list is disabled

Authentication Proxy Max HTTP process is 7
Authentication Proxy Auditing is disabled
Max Login attempts per user is 5

```


次の出力では、ホスト IP アドレス、セッションタイムアウト、およびポスチャの状態を示します。ポスチャの状態が POSTURE ESTAB である場合、ホスト検証は成功しました。

```
Device# show ip admission cache eapoudp

Posture Validation Proxy Cache
Total Sessions: 3 Init Sessions: 1
Client IP 10.0.0.112, timeout 60, posture state POSTURE ESTAB
Client IP 10.0.0.142, timeout 60, posture state POSTURE INIT
Client IP 10.0.0.205, timeout 60, posture state POSTURE ESTAB
```

出力にはフィールドの説明も表示されます。

関連コマンド

コマンド	説明
banner (パラメータ マップ Web 認証)	Web 認証ログイン Web ページにバナーを表示します。
clear ip admission cache	ルータからの IP アドミッション キャッシュ エントリをクリアします。
custom-page	Web 認証ログイン時にカスタム Web ページが表示されます。
ip admission name	レイヤ3ネットワークアドミッション制御ルールを作成します。

show ip interface

IP に設定されたインターフェイスのユーザビリティステータスを表示するには、特権 EXEC モードで **show ip interface** コマンドを使用します。

show ip interface [*type number*] [**brief**]

構文の説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。
brief	(任意) 各インターフェイスのユーザビリティステータスの概要を表示します。

コマンド デフォルト

IP に対して設定されているすべてのインターフェイスについて、完全なユーザビリティステータスが表示されます。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
10.0	このコマンドが導入されました。
12.0(3)T	ip wccp redirect out コマンドと ip wccp redirect exclude add in コマンドのステータスを表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
12.2(14)S	サブインターフェイスの NetFlow のステータスを表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
12.2(15)T	サブインターフェイスの NetFlow のステータスを表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
12.3(6)	出力においてダウンストリーム VPN ルーティング/転送 (VRF) インスタンスを識別できるよう、コマンドの出力が変更されました。
12.3(14)YM2	Multiprocessor Forwarding (MPF) 用に設定され、Cisco 7301 ルータおよび Cisco 7206VXR ルータに実装されているインターフェイスのユーザビリティステータスを表示するよう、コマンドの出力が変更されました。

リリース	変更内容
12.2(14)SX	このコマンドがスーパーバイザ エンジン 720 に実装されました。
12.2(17d)SXB	このコマンドが Supervisor Engine 2 の Cisco IOS 12.2(17d)SXB に統合され、ハードウェア フローのステータスの NDE が含まれるようにコマンドの出力が変更されました。
12.4(4)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.4(4)T に統合されました。
12.2(28)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(31)SB2	ユニキャスト リバース パス転送 (RPF) 通知機能に関する情報を表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
12.4(20)T	ユニキャスト RPF 通知機能に関する情報を表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
12.2(33)SXI2	このコマンドが変更されました。ユニキャスト RPF 通知機能に関する情報を表示するよう、コマンドの出力が変更されました。
Cisco IOS XE Release 2.5	このコマンドが変更されました。このコマンドが、Cisco ASR 1000 シリーズの集約サービス ルータに実装されました。

使用上のガイドライン

インターフェイスが使用可能な場合（パケットを送受信できる場合）、Cisco IOS ソフトウェアによって、直接接続されているルートがルーティングテーブルに自動的に入力されます。インターフェイスが使用不可である場合、直接接続されているルーティングエントリはルーティングテーブルから削除されます。エントリが削除されると、ソフトウェアはダイナミック ルーティング プロトコルを使用してネットワークへのバックアップ ルートを決定するようになります（存在する場合）。

インターフェイスで双方向通信が提供される場合、回線プロトコルは「up」とマークされます。インターフェイス ハードウェアが使用可能な場合、インターフェイスは「up」とマークされます。

オプションのインターフェイス タイプを指定すると、その特定のインターフェイスに関する情報が表示されます。オプションの引数を指定しないと、すべてのインターフェイスの情報が表示されます。

PPP またはシリアル ライン インターネット プロトコル (SLIP) によって非同期インターフェイスがカプセル化されると、IP 高速スイッチングがイネーブルになります。PPP または SLIP によってカプセル化された非同期インターフェイスに対して **show ip interface** コマンドを実行すると、IP 高速スイッチングがイネーブルであることを示すメッセージが表示されます。

ルータインターフェイスの概要を表示するには、**show ip interface brief** コマンドを使用できます。このコマンドでは、IP アドレス、インターフェイスのステータス、およびその他の情報が表示されます。

show ip interface brief コマンドでは、ユニキャスト RPF に関連する情報は表示されません。

例

次に、ギガビットイーサネット 0/3 インターフェイスの設定情報を表示する例を示します。次の例では、出力側（パケットがインターフェイスから送信される場所）に IP フローの出力機能を設定し、入力側（パケットがインターフェイスに着信する場所）に PBRNAME という名前のポリシールート マップを設定しています。

```
Router# show running-config interface gigabitethernet 0/3
interface GigabitEthernet0/3
 ip address 10.1.1.1 255.255.0.0
 ip flow egress
 ip policy route-map PBRNAME
 duplex auto
 speed auto
 media-type gbic
 negotiation auto
end
```

次に、ギガビットイーサネット インターフェイス 0/3 のインターフェイス情報を表示する例を示します。この例では、MPF がイネーブルであり、ポリシーベースルーティング（PBR）と NetFlow 機能の両方が MPF でサポートされておらず、無視されています。

```
Router# show ip interface gigabitethernet 0/3
GigabitEthernet0/3 is up, line protocol is up
 Internet address is 10.1.1.1/16
 Broadcast address is 255.255.255.255
 Address determined by setup command
 MTU is 1500 bytes
 Helper address is not set
 Directed broadcast forwarding is disabled
 Outgoing access list is not set
 Inbound access list is not set
 Proxy ARP is enabled
 Local Proxy ARP is disabled
 Security level is default
 Split horizon is enabled
 ICMP redirects are always sent
 ICMP unreachable are always sent
 ICMP mask replies are never sent
 IP fast switching is enabled
 IP fast switching on the same interface is disabled
 IP Flow switching is disabled
 IP CEF switching is enabled
 IP Feature Fast switching turbo vector
 IP VPN Flow CEF switching turbo vector
 IP multicast fast switching is enabled
 IP multicast distributed fast switching is disabled
 IP route-cache flags are Fast, CEF
 Router Discovery is disabled
 IP output packet accounting is disabled
 IP access violation accounting is disabled
 TCP/IP header compression is disabled
 RTP/IP header compression is disabled
 Policy routing is enabled, using route map PBR
 Network address translation is disabled
 BGP Policy Mapping is disabled
 IP Multi-Processor Forwarding is enabled
 IP Input features, "PBR",
 are not supported by MPF and are IGNORED
```

```
IP Output features, "NetFlow",  
are not supported by MPF and are IGNORED
```

次に、ダウンストリーム VRF インスタンスを識別する例を示します。この例では、「Downstream VPN Routing/Forwarding "D"」の表示でダウンストリーム VRF インスタンスを識別できます。

```
Router# show ip interface virtual-access 3  
Virtual-Access3 is up, line protocol is up  
Interface is unnumbered. Using address of Loopback2 (10.0.0.8)  
Broadcast address is 255.255.255.255  
Peer address is 10.8.1.1  
MTU is 1492 bytes  
Helper address is not set  
Directed broadcast forwarding is disabled  
Outgoing access list is not set  
Inbound access list is not set  
Proxy ARP is enabled  
Local Proxy ARP is disabled  
Security level is default  
Split horizon is enabled  
ICMP redirects are always sent  
ICMP unreachable are always sent  
ICMP mask replies are never sent  
IP fast switching is enabled  
IP fast switching on the same interface is enabled  
IP Flow switching is disabled  
IP CEF switching is enabled  
IP Feature Fast switching turbo vector  
IP VPN CEF switching turbo vector  
VPN Routing/Forwarding "U"  
Downstream VPN Routing/Forwarding "D"  
IP multicast fast switching is disabled  
IP multicast distributed fast switching is disabled  
IP route-cache flags are Fast, CEF  
Router Discovery is disabled  
IP output packet accounting is disabled  
IP access violation accounting is disabled  
TCP/IP header compression is disabled  
RTP/IP header compression is disabled  
Policy routing is disabled  
Network address translation is disabled  
WCCP Redirect outbound is disabled  
WCCP Redirect inbound is disabled  
WCCP Redirect exclude is disabled  
BGP Policy Mapping is disabled
```

次に、ユニキャスト RPF のドロップレートの通知が設定されている場合に表示される情報の例を示します。

```
Router# show ip interface ethernet 2/3  
Ethernet2/3 is up, line protocol is up  
Internet address is 10.0.0.4/16  
Broadcast address is 255.255.255.255  
Address determined by non-volatile memory  
MTU is 1500 bytes  
Helper address is not set  
Directed broadcast forwarding is disabled  
Outgoing access list is not set  
Inbound access list is not set  
Proxy ARP is enabled  
Local Proxy ARP is disabled  
Security level is default  
Split horizon is enabled  
ICMP redirects are always sent  
ICMP unreachable are always sent  
ICMP mask replies are never sent  
IP fast switching is disabled  
IP Flow switching is disabled  
IP CEF switching is disabled  
IP Null turbo vector  
IP Null turbo vector
```

```

IP multicast fast switching is disabled
IP multicast distributed fast switching is disabled
IP route-cache flags are No CEF
Router Discovery is disabled
IP output packet accounting is disabled
IP access violation accounting is disabled
TCP/IP header compression is disabled
RTP/IP header compression is disabled
Probe proxy name replies are disabled
Policy routing is disabled
Network address translation is disabled
WCCP Redirect outbound is disabled
WCCP Redirect inbound is disabled
WCCP Redirect exclude is disabled
BGP Policy Mapping is disabled

```

例

```

Input features: uRPF
IP verify source reachable-via RX, allow default
  0 verification drops
  0 suppressed verification drops
  0 verification drop-rate
Router#

```

次に、特定の VLAN のユーザビリティ ステータスを表示する例を示します。

```

Router# show ip interface vlan 1
Vlan1 is up, line protocol is up
  Internet address is 10.0.0.4/24
  Broadcast address is 255.255.255.255
Address determined by non-volatile memory
MTU is 1500 bytes
Helper address is not set
Directed broadcast forwarding is disabled
Outgoing access list is not set
Inbound access list is not set
Proxy ARP is enabled
Local Proxy ARP is disabled
Security level is default
Split horizon is enabled
ICMP redirects are always sent
ICMP unreachable are always sent
ICMP mask replies are never sent
IP fast switching is enabled
IP fast switching on the same interface is disabled
IP Flow switching is disabled
IP CEF switching is enabled
IP Fast switching turbo vector
IP Normal CEF switching turbo vector
IP multicast fast switching is enabled
IP multicast distributed fast switching is disabled
IP route-cache flags are Fast, CEF
Router Discovery is disabled
IP output packet accounting is disabled
IP access violation accounting is disabled
TCP/IP header compression is disabled
RTP/IP header compression is disabled
Probe proxy name replies are disabled
Policy routing is disabled
Network address translation is disabled
WCCP Redirect outbound is disabled
WCCP Redirect inbound is disabled
WCCP Redirect exclude is disabled
BGP Policy Mapping is disabled
Sampled Netflow is disabled
IP multicast multilayer switching is disabled
Netflow Data Export (hardware) is enabled

```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明しています。

表 4 : show ip interface のフィールドの説明

フィールド	説明
Virtual-Access3 is up	インターフェイス ハードウェアが使用可能 (アップ状態) かどうかを示します。インターフェイスが使用可能となるには、インターフェイス ハードウェアと回線プロトコルの両方がアップ状態である必要があります。
Broadcast address is	ブロードキャストアドレス。
Peer address is	ピア アドレス。
MTU is	インターフェイスに設定されている MTU の値 (バイト単位)。
Helper address	ヘルパー アドレス (設定されている場合)。
Directed broadcast forwarding	指定ブロードキャスト転送がイネーブルかどうかを示します。
Outgoing access list	インターフェイスに発信アクセスリストが設定されているかどうかを示します。
Inbound access list	インターフェイスに着信アクセスリストが設定されているかどうかを示します。
Proxy ARP	プロキシアドレス解決プロトコル (ARP) がインターフェイスでイネーブルであるかどうかを示します。
Security level	このインターフェイスに対して設定されている IP Security Option (IPSO) セキュリティ レベル。
Split horizon	スプリットホライズンがイネーブルかどうかを示します。
ICMP redirects	このインターフェイスでリダイレクトメッセージが送信されるかどうかを示します。
ICMP unreachable	このインターフェイスで到達不能メッセージが送信されるかどうかを示します。
ICMP mask replies	マスク応答がこのインターフェイスで送信されるかどうかを示します。

フィールド	説明
IP fast switching	高速スイッチングがこのインターフェイスでイネーブルかどうかを示します。通常、このようなシリアルインターフェイス上ではイネーブルです。
IP Flow switching	フロースイッチングがこのインターフェイスでイネーブルかどうかを示します。
IP CEF switching	シスコ エクスプレス フォワーディング スイッチングがインターフェイスでイネーブルになっているかどうかを示します。
Downstream VPN Routing/Forwarding "D"	PPP ピア ルートおよび AAA ユーザ単位ルートがインストールされている VRF インスタンスを示します。
IP multicast fast switching	マルチキャスト高速スイッチングがこのインターフェイスでイネーブルかどうかを示します。
IP route-cache flags are Fast	NetFlow がインターフェイスでイネーブルかどうかを示します。インターフェイスで NetFlow がイネーブルであることを表すには「Flow init」と表示されます。 ip flow ingress コマンドを使用してサブインターフェイスで NetFlow がイネーブルになっていることを表すには、「Ingress Flow」と表示されます。 ip route-cache flow コマンドを使用してメインインターフェイスで NetFlow がイネーブルになっていることを表すには、「Flow」と表示されます。
Router Discovery	検出プロセスがこのインターフェイスでイネーブルかどうかを示します。シリアルインターフェイス上では通常はディセーブルです。
IP output packet accounting	このインターフェイスで IP アカウンティングがイネーブルかどうかと、そのしきい値（エントリの最大数）を示します。
TCP/IP header compression	圧縮がイネーブルかどうかを示します。

フィールド	説明
WCCP Redirect outbound is disabled	インターフェイスで受信されたパケットがキャッシュエンジンにリダイレクトされるかどうかのステータスを示します。「enabled」または「disabled」と表示されます。
WCCP Redirect exclude is disabled	インターフェイス宛てのパケットがキャッシュエンジンへのリダイレクトから除外されるかどうかのステータスを示します。「enabled」または「disabled」と表示されます。
Netflow Data Export (hardware) is enabled	インターフェイスのNetFlowデータエクスポート (NDE) のハードウェアフローステータス。

次に、各インターフェイスのユーザビリティステータスのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ip interface brief
Interface    IP-Address    OK?  Method  Status        Protocol
Ethernet0    10.108.00.5   YES  NVRAM   up            up
Ethernet1    unassigned    YES  unset   administratively down  down
Loopback0    10.108.200.5  YES  NVRAM   up            up
Serial0      10.108.100.5  YES  NVRAM   up            up
Serial1      10.108.40.5   YES  NVRAM   up            up
Serial2      10.108.100.5  YES  manual  up            up
Serial3      unassigned    YES  unset   administratively down  down
```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明しています。

表 5 : show ip interface brief のフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイスのタイプ。
IP-Address	インターフェイスに割り当てられている IP アドレス。
OK?	「Yes」は IP アドレスが有効であることを意味します。「No」は IP アドレスが無効であることを意味します。

フィールド	説明
Method	<p>このフィールドは次の値を持ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RARP または SLARP : 逆アドレス解決プロトコル (RARP) または Serial Line Address Resolution Protocol (SLARP) の要求。 • BOOTP : Bootstrap プロトコル。 • TFTP : TFTP サーバから取得したコンフィギュレーションファイル。 • manual : コマンドライン インターフェイスで手動で変更。 • NVRAM : NVRAM のコンフィギュレーションファイル。 • IPCP : ip address negotiated コマンド。 • DHCP : ip address dhcp コマンド。 • unset : 設定解除。 • other : 不明。
Status	<p>インターフェイスのステータスを示します。有効な値とその意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • up : インターフェイスはアップ状態です。 • down : インターフェイスはダウン状態です。 • administratively down : インターフェイスは管理のためにダウン状態です。
Protocol	<p>このインターフェイスのルーティングプロトコルの動作ステータスを示します。</p>

関連コマンド

コマンド	説明
ip address	<p>インターフェイスに対するプライマリ IP アドレスまたはセカンダリ IP アドレスを設定します。</p>

コマンド	説明
ip vrf autoclassify	送信元インターフェイスで VRF autoclassify をイネーブルにします。
match ip source	VRF 接続されたルートに基づいて設定された必須ルート マップに一致するように送信元 IP アドレスを指定します。
route-map	1つのルーティング プロトコルから他のルーティング プロトコルへのルートを再配布するか、またはポリシールーティングをイネーブルにするための条件を定義します。
set vrf	ポリシーベース ルーティングの VRF 選択のために、ルートマップ内での VPN VRF 選択をイネーブルにします。
show ip arp	SLIP アドレスがパーマネント ARP テーブル エントリとして表示される ARP キャッシュを表示します。
show route-map	スタティック ルート マップおよびダイナミック ルート マップを表示します。

show ip ssh

セキュア シェル (SSH) のバージョンおよび設定データを表示するには、特権 EXEC モードで **show ip ssh** コマンドを使用します。

show ip ssh

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.0(5)S	このコマンドが導入されました。
12.1(1)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.1 T に統合されました。
12.1(5)T	このコマンドが SSH のステータス (イネーブルまたはディセーブル) を表示するように変更されました。
12.2(17a)SX	このコマンドが Cisco IOS Release 12.2(17a)SX に統合されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが Cisco IOS Release 12.(33)SRA に統合されました。

使用上のガイドライン

再試行およびタイムアウトなどの、設定済みオプションのステータスを表示するには、**show ip ssh** コマンドを使用します。このコマンドで、SSH がイネーブルか、またはディセーブルかを調べることができます。

例

次に、SSH がイネーブルの場合の **show ip ssh** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show ip ssh
SSH Enabled - version 1.5
Authentication timeout: 120 secs; Authentication retries: 3
The following is sample output from the show ip ssh
command when SSH has been disabled:
Router# show ip ssh
%SSH has not been enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ssh	SSH サーバ接続のステータスを表示します。

show ipv6 access-list

現在のすべての IPv6 アクセス リストの内容を表示するには、ユーザ EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show ipv6 access-list** コマンドを使用します。

show ipv6 access-list [*access-list-name*]

構文の説明

<i>access-list-name</i>	(任意) アクセス リストの名前
-------------------------	------------------

コマンド デフォルト

すべての IPv6 アクセス リストが表示されます。

コマンド モード

ユーザ EXEC 特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(2)T	このコマンドが導入されました。
12.0(21)ST	このコマンドが Cisco IOS Release 12.0(21)ST に統合されました。
12.0(22)S	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.0(22)S に統合されました。
12.0(23)S	priority フィールドが sequence に変更され、レイヤ 4 プロトコル情報 (拡張 IPv6 アクセス リスト機能) が出力表示に追加されました。
12.2(13)T	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(13)T に統合されました。
12.2(14)S	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(14)S に統合されました。
12.2(28)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。
12.2(25)SG	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(25)SG に統合されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(33)SXH	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SXH に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが変更されました。IPv4 および IPv6 ハードウェア統計情報に関する情報が表示されます。

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Release 3.2SE	このコマンドが Cisco IOS XE Release 3.2SE に統合されました。

使用上のガイドライン IPv6 専用である点を除いて、**show ipv6 access-list** コマンドの出力は **show ip access-list** コマンドと類似しています。

例 次の例では、**show ipv6 access-list** コマンドで出力された inbound、tcptraffic、および outbound という名の IPv6 アクセス リストを示します。

```
Router# show ipv6 access-list
IPv6 access list inbound
  permit tcp any any eq bgp reflect tcptraffic (8 matches) sequence 10
  permit tcp any any eq telnet reflect tcptraffic (15 matches) sequence 20
  permit udp any any reflect udptraffic sequence 30
IPv6 access list tcptraffic (reflexive) (per-user)
  permit tcp host 2001:0DB8:1::1 eq bgp host 2001:0DB8:1::2 eq 11000 timeout 300 (time
    left 243) sequence 1
  permit tcp host 2001:0DB8:1::1 eq telnet host 2001:0DB8:1::2 eq 11001 timeout 300
    (time left 296) sequence 2
IPv6 access list outbound
  evaluate udptraffic
  evaluate tcptraffic
```

次の出力例は、IPSec で使用するための IPv6 アクセス リスト情報を示します。

```
Router# show ipv6 access-list
IPv6 access list Tunnel0-head-0-ACL (crypto)
  permit ipv6 any any (34 matches) sequence 1
IPv6 access list Ethernet2/0-ipsecv6-ACL (crypto)
  permit 89 FE80::/10 any (85 matches) sequence 1
```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明しています。

表 6 : **show ipv6 access-list** のフィールドの説明

フィールド	説明
ipv6 access list inbound	IPv6 アクセス リスト名 (例 : inbound) 。
permit	指定されたプロトコルタイプと一致するパケットを許可します。
tcp	伝送制御プロトコル。パケットが一致しなければならぬ高いレベル (レイヤ 4) のプロトコルタイプ。
any	::/0 と同じです。
eq	TCP または UDP パケットの送信元または宛先ポートを比較する equal オペランド。

フィールド	説明
bgp	ボーダー ゲートウェイ プロトコル。パケットが同じでなければならない低いレベル（レイヤ 3）のプロトコル タイプ。
reflect	再帰 IPv6 アクセス リストを示します。
tcptraffic (8 matches)	再帰 IPv6 アクセス リストの名前およびアクセス リストとの一致の数。 clear ipv6 access-list 特権 EXEC コマンドは、IPv6 アクセス リストの一致カウンタをリセットします。
sequence 10	着信パケットが比較されるアクセス リストの行のシーケンス。アクセス リストの行は、最初のプライオリティ（最低の数、たとえば 10）から最後のプライオリティ（最高の数、たとえば 80）の順に並んでいます。
host 2001:0DB8:1::1	パケットの送信元アドレスが一致する必要がある、送信元 IPv6 ホスト アドレス。
host 2001:0DB8:1::2	パケットの宛先アドレスが一致する必要がある、宛先 IPv6 ホスト アドレス。
11000	発信接続用のエフェメラル送信元ポート番号。
timeout 300	アイドル時間の合計間隔（秒単位）。これを過ぎると、tcptraffic という名前の一時的な IPv6 再帰アクセス リストが、示されたセッションに対してタイムアウトします。
(time left 243)	残りの合計アイドル時間（秒単位）。これを過ぎると、tcptraffic という名前の一時的な IPv6 再帰アクセス リストが、示されたセッションに対して削除されます。示されたセッションに一致する追加受信トラフィックにより、この値は 300 秒にリセットされます。
evaluate udptraffic	udptraffic という名前の IPv6 再帰アクセス リストが、outbound という名前の IPv6 アクセス リスト内にネストされていることを示します。

関連コマンド

コマンド	説明
clear ipv6 access-list	IPv6 アクセス リストの一致カウンタをリセットします。
hardware statistics	ハードウェア統計情報の収集をイネーブルにします。
show ip access-list	現在のすべての IP アクセス リストの内容を表示します。
show ip prefix-list	プレフィックス リストまたはプレフィックス リスト エントリに関する情報を表示します。
show ipv6 prefix-list	IPv6 プレフィックス リストまたは IPv6 プレフィックス リストのエントリに関する情報を表示します。

show mab

MAC 認証バイパス (MAB) 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show mab** コマンドを使用します。

show mab {all| interface *type number*} [detail]

構文の説明

all	すべてのインターフェイスを指定します。
interface <i>type number</i>	MAB 情報を表示する、特定のインターフェイスを指定します。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが導入されました。
15.2(2)T	このコマンドが、Cisco IOS Release 15.2(2)T に統合されました。
15.2(3)T	このコマンドが変更されました。認証結果のステータスは、コマンド出力で AUTHORIZED または UNAUTHORIZED ではなく、SUCCESS または FAIL で表示されます。

使用上のガイドライン

show mab コマンドを使用して、MAB ポートおよび MAB セッションに関する情報を表示します。

例

次に、MAB セッションが許可された場合の **show mab interface detail** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show mab interface
FastEthernet1/0/1
  detail
MAB details for FastEthernet1/0/1
-----
Mac-Auth-Bypass           = Enabled
Inactivity Timeout        = None
```

```
MAB Client List
```

```
-----
Client MAC           = 000f.23c4.a401
MAB SM state        = TERMINATE
Auth Status          = SUCCESS
```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明しています。

表 7: *show mab* のフィールドの説明

フィールド	説明
Mac-Auth-Bypass	MAB をイネーブルにするか、ディセーブルにするかを指定します。
Inactivity Timeout	これを過ぎるとセッションが終了する、アクティビティなしの期間。
Client MAC	クライアントの MAC アドレス。
MAB SM state	MAB ステート マシンの状態。開始から終了までに使用される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • INITIALIZE : 初期化されているときのセッションの状態。 • ACQUIRING : MAC アドレスをクライアントから取得しているときのセッションの状態。 • AUTHORIZING : MAC アドレスを許可しているときのセッションの状態。 • TERMINATE : 許可結果が取得されたときのセッションの状態。
Auth Status	MAB セッションの許可ステータス。次の値が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • SUCCESS : セッションが正常に許可されました。 • FAIL : セッションは許可されませんでした。

関連コマンド

コマンド	説明
show authentication interface	特定のインターフェイスの認証マネージャに関する情報を表示します。
show authentication registrations	認証マネージャに登録されている認証方式に関する情報を表示します。
show authentication sessions	認証マネージャセッションに関する情報を表示します。

show mac-address-table

MAC アドレス テーブルを表示するには、特権 EXEC モードで **show mac-address-table** コマンドを使用します。

Cisco 2600, 3600, and 3700 Series Routers

```
show mac-address-table [secure| self] count[[addressmacaddress][interfacetype/number]{fa |
gislot/port}[atmslot/port][atmslot/port ][vlanvlan-id]
```

Catalyst 4500 Series Switches

```
show mac-address-table {assigned| ip| ipx| other}
```

Catalyst 6000/6500 Series Switches and 7600 Series Routers

```
show mac-address-table [ address mac-addr [all | interface type/number | module number | vlan
vlan-id ] | aging-time [vlan vlan-id ] | count[module number | vlan vlan-id ] | interface type/number | limit
[vlan vlan-id | module number | interface type] | module number | multicast [ count ] [igmp-snooping
| mld-snooping | user ][vlan vlan-id ] | notification {mac-move[counter[vlan]]} threshold| change;[interface
[number]] | synchronize statistics | unicast-flood | vlan vlan-id [all| module number]]
```

構文の説明

secure	(任意) セキュアアドレスだけを表示します。
self	(任意) スイッチ自体が追加したアドレスだけを表示します。
count	(任意) MAC アドレス テーブル内の現在のエントリ数を表示します。
address mac-addr	(任意) 特定の MAC アドレスの MAC アドレス テーブルに関する情報を表示します。フォーマットの詳細については、「Usage Guidelines」のセクションを参照してください。
interface type / number	(任意) 特定のインターフェイスのアドレスを表示します。Catalyst 6500 および 6000 シリーズスイッチの場合、有効値は atm 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、および port-channel です。Cisco 7600 シリーズの場合、有効値は atm 、 ethernet 、 fastethernet 、 ge-wan 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、および pos です。
fa	(任意) ファストイーサネット インターフェイスを指定します。

gi	(任意) ギガビットイーサネットインターフェイスを指定します。
<i>slot / port</i>	(任意) スロット 1 または 2 のモジュールにダイナミックアドレスを追加します。スラッシュ記号が必要です。
atm <i>slot /port</i>	(任意) ATM モジュール <i>slot/port</i> にダイナミックアドレスを追加します。スロット番号には 1 または 2 を使用します。ポート番号として 0 を使用します。スラッシュ記号が必要です。
vlan <i>vlan -id</i>	(任意) 特定の VLAN のアドレスを表示します。Cisco 2600、3600、および 3700 シリーズの場合、有効値は 1 ~ 1005 です。先行ゼロを入力しないでください。Cisco IOS Release 12.4(15)T 以降、有効な VLAN ID の範囲は 1 ~ 4094 です。 Catalyst 6500 および 6000 シリーズスイッチおよび 7600 シリーズの場合、有効値は 1 ~ 4094 です。
assigned	割り当てられたプロトコルエントリを指定します。
ip	IP プロトコルエントリを指定します。
ipx	IPX プロトコルエントリを指定します。
other	その他のプロトコルエントリを指定します。
all	(任意) 転送テーブル内にある、指定された MAC アドレスのすべてのインスタンスを表示します。
<i>type / number</i>	(任意) モジュールおよびインターフェイス番号
module <i>number</i>	(任意) 特定の Distributed Forwarding Card (DFC) モジュールの MAC アドレステーブルに関する情報を表示します。
aging-time	(任意) VLAN のエージングタイムを表示します。

limit	MAC 使用情報を表示します。
multicast	マルチキャスト MAC アドレステーブルエントリに関する情報だけを表示します。
igmp-snooping	インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピングによって学習されたアドレスを表示します。
mld-snooping	Multicast Listener Discover version 2 (MLDv2) スヌーピングによって学習されたアドレスを表示します。
user	手動で入力された (スタティック) アドレスを表示します。
notification mac-move	MAC 移動通知ステータスを表示します。
notification mac-move counter	(任意) MAC が移動した回数およびシステムで発生したこれらのインスタンスの数を表示します。
<i>vlan</i>	(任意) 表示する VLAN を指定します。Catalyst 6500 および 6000 シリーズ スイッチおよび 7600 シリーズの場合、有効値は 1 ~ 4094 です。
notification threshold	連想メモリ (CAM) テーブル利用通知ステータスを表示します。
notification change	MAC 通知パラメータおよび履歴テーブルを表示します。
synchronize statistics	スイッチ プロセッサまたは DFC で収集された統計情報を表示します。
unicast-flood	ユニキャスト フラッディング情報を表示します。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
11.2(8)SA	このコマンドが導入されました。
11.2(8)SA3	このコマンドが変更されました。 aging-time 、 count 、 self 、および vlan vlan -id キーワードと引数が追加されました。
11.2(8)SA5	このコマンドが変更されました。 atmslot/port キーワードと引数のペアが追加されました。
12.2(2)XT	このコマンドが変更されました。このコマンドが Cisco 2600、3600、および 3700 シリーズルータに実装されました。
12.1(8a)EW	このコマンドが変更されました。このコマンドが Catalyst 4500 シリーズスイッチに実装されました。
12.2(8)T	このコマンドが、Cisco 2600、3600、および 3700 シリーズルータの Cisco IOS Release 12.2(8)T に統合されました。
12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.2(11)T に統合されました。
12.2(14)SX	このコマンドが変更されました。このコマンドがスーパーバイザエンジン 720 に実装されました。
12.2(17a)SX	このコマンドが変更されました。Catalyst 6500 および 6000 シリーズスイッチ、7600 シリーズの場合、次のオプションのキーワードおよび引数をサポートするようにこのコマンドが変更されました。 <ul style="list-style-type: none"> • count module number • limit [vlan vlan-id port number interface interface-type] • notification threshold • unicast-flood
12.2(17d)SXB	このコマンドが変更されました。このコマンドのサポートが Supervisor Engine 2 に追加されました。
12.2(18)SXE	このコマンドが変更されました。Catalyst 6500 および 6000 シリーズスイッチ、Cisco 7600 シリーズの場合、Supervisor Engine 720 上でのみ mld-snooping キーワードのサポートが追加されました。
12.2(18)SXF	このコマンドが変更されました。Catalyst 6500 および 6000 シリーズスイッチ、Cisco 7600 シリーズの場合、Supervisor Engine 720 上でのみ synchronizestatistics キーワードのサポートが追加されました。

リリース	変更内容
12.2(33)SRA	このコマンドが変更されました。このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.4(15)T	このコマンドは、指定されたプラットフォームに対する VLAN ID の有効範囲を 1 ～ 4094 に拡張するために修正されました。
12.2(33)SXH	このコマンドが変更されました。 change キーワードが追加されました。
12.2(33)SXI	このコマンドが変更され、 counter キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン Cisco 2600、3600、および 3700 シリーズ ルータ

show mac-address-table コマンドは、スイッチの MAC アドレス テーブルを表示します。オプションのキーワードおよび引数を使用することによって、特定のビューを定義できます。複数のオプションのキーワードが使用される場合は、表示されるそのエントリに対して、すべての条件が当てはまる必要があります。

Catalyst 4500 シリーズ スイッチ

ルーテッドポートで使用される MAC アドレス テーブル エントリの場合、「vlan」カラムには内部 VLAN 番号ではなくルーテッドポートの名前が表示されます。

Catalyst 6000 および 6500 シリーズ スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ

モジュール番号を指定しないと、**show mac-address-table** コマンドの出力にスーパーバイザ エンジンに関する情報が表示されます。DFC の MAC アドレス テーブルに関する情報を表示するには、モジュール番号または **all** キーワードを入力する必要があります。

mac-addr の値は 48 ビット MAC アドレスです。有効なフォーマットは H.H.H です。

interface number 引数では、モジュールおよびポート番号を指定します。有効値は、指定されたインターフェイス タイプ、および使用されるシャーシとモジュールによって異なります。たとえば、13 スロット シャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合に、ギガビット イーサネット インターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 1 ～ 13、ポート番号の有効値は 1 ～ 48 になります。

オプションの **module number** キーワードと引数のペアは、DFC モジュールだけでサポートされています。 **module number** キーワードと引数のペアは、モジュール番号を指定します。

mac-group-address 引数の有効値は 1 ～ 9 です。

オプションの **count** キーワードは、マルチキャスト エントリ数を表示します。

オプションの **multicast** キーワードは、VLAN 内のマルチキャスト MAC アドレス (グループ) を表示したり、スタティックに導入された、または IGMP スヌーピングによって学習されたレイヤ 2 テーブル内のすべてのエントリを表示したりします。

show mac-address-table unicast-flood コマンドの出力で表示される情報は次のとおりです。

- フィルタ モードの使用を設定されていないすべての VLAN 間で共有された、最大 50 のフラディング エントリを記録できます。
- 出力フィールドの表示は、次のように定義されます。
 - ALERT : 情報は約 3 秒ごとに更新されます。
 - SHUTDOWN : 情報は約 3 秒ごとに更新されます。



(注) 宛先 MAC アドレスで表示される情報は、ポートがシャットダウンしてフラディングが停止するとただちに削除されます。

- 情報はフィルタを導入するたびに更新されます。この情報はフィルタを削除するまで維持されます。

Learn フィールドに表示されるダイナミック エントリは、常に Yes に設定されます。

show mac-address-table limit コマンドの出力は、次の情報を表示します。

- MAC アドレスの現在数
- 許可された MAC エントリの最大数
- 使用率 (%)

show mac-address-table synchronize statistics コマンドの出力は、次の情報を表示します。

- 各時間間隔で処理されるメッセージ数
- 同期化用に送信されるアクティブ エントリの数
- 更新されたエントリ、作成されたエントリ、無視されたエントリ、または失敗したエントリの数

例

次に、**show mac-address-table** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show mac-address-table
Dynamic Addresses Count:          9
Secure Addresses (User-defined) Count: 0
Static Addresses (User-defined) Count: 0
System Self Addresses Count:     41
Total MAC addresses:              50
Non-static Address Table:
Destination Address  Address Type  VLAN  Destination Port
-----
0010.0de0.e289      Dynamic      1     FastEthernet0/1
0010.7b00.1540      Dynamic      2     FastEthernet0/5
0010.7b00.1545      Dynamic      2     FastEthernet0/5
0060.5cf4.0076      Dynamic      1     FastEthernet0/1
0060.5cf4.0077      Dynamic      1     FastEthernet0/1
0060.5cf4.1315      Dynamic      1     FastEthernet0/1
0060.70cb.f301      Dynamic      1     FastEthernet0/1
```

```
00e0.1e42.9978      Dynamic          1  FastEthernet0/1
00e0.1e9f.3900      Dynamic          1  FastEthernet0/1
```

例

次の例では、特定のプロトコルタイプ（この場合は「assigned」）のMACアドレステーブルエントリを表示する方法を示します。

```
Switch# show mac-address-table protocol assigned
```

vlan	mac address	type	protocol	qos	ports
200	0050.3e8d.6400	static	assigned	--	Switch
100	0050.3e8d.6400	static	assigned	--	Switch
5	0050.3e8d.6400	static	assigned	--	Switch
4092	0000.0000.0000	dynamic	assigned	--	Switch
1	0050.3e8d.6400	static	assigned	--	Switch
4	0050.3e8d.6400	static	assigned	--	Switch
4092	0050.f0ac.3058	static	assigned	--	Switch
4092	0050.f0ac.3059	dynamic	assigned	--	Switch
1	0010.7b3b.0978	dynamic	assigned	--	Fa5/9

次に、上記の例の「other」の出力を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table protocol other
```

Unicast Entries					
vlan	mac address	type	protocols	port	
1	0000.0000.0201	dynamic	other	FastEthernet6/15	
1	0000.0000.0202	dynamic	other	FastEthernet6/15	
1	0000.0000.0203	dynamic	other	FastEthernet6/15	
1	0000.0000.0204	dynamic	other	FastEthernet6/15	
1	0030.94fc.0dff	static	ip,ipx,assigned,other	Switch	
2	0000.0000.0101	dynamic	other	FastEthernet6/16	
2	0000.0000.0102	dynamic	other	FastEthernet6/16	
2	0000.0000.0103	dynamic	other	FastEthernet6/16	
2	0000.0000.0104	dynamic	other	FastEthernet6/16	
Fa6/1	0030.94fc.0dff	static	ip,ipx,assigned,other	Switch	
Fa6/2	0030.94fc.0dff	static	ip,ipx,assigned,other	Switch	
Multicast Entries					
vlan	mac address	type	ports		
1	ffff.ffff.ffff	system	Switch, Fa6/15		
2	ffff.ffff.ffff	system	Fa6/16		
1002	ffff.ffff.ffff	system			
1003	ffff.ffff.ffff	system			
1004	ffff.ffff.ffff	system			
1005	ffff.ffff.ffff	system			
Fa6/1	ffff.ffff.ffff	system	Switch, Fa6/1		
Fa6/2	ffff.ffff.ffff	system	Switch, Fa6/2		

例

次に、show mac-address-table コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show mac-address-table
```

```
Dynamic Addresses Count:          9
Secure Addresses (User-defined) Count: 0
Static Addresses (User-defined) Count: 0
System Self Addresses Count:      41
Total MAC addresses:              50
Non-static Address Table:
Destination Address  Address Type  VLAN  Destination Port
-----
```

```

0010.0de0.e289      Dynamic      1  FastEthernet0/1
0010.7b00.1540      Dynamic      2  FastEthernet0/5
0010.7b00.1545      Dynamic      2  FastEthernet0/5
0060.5cf4.0076      Dynamic      1  FastEthernet0/1
0060.5cf4.0077      Dynamic      1  FastEthernet0/1
0060.5cf4.1315      Dynamic      1  FastEthernet0/1
0060.70cb.f301      Dynamic      1  FastEthernet0/1
00e0.1e42.9978      Dynamic      1  FastEthernet0/1
00e0.1e9f.3900      Dynamic      1  FastEthernet0/1

```



(注) 分散 Distributed Encoded Address Recognition Logic (EARL) スイッチでは、アスタリスク (*) はこの EARL に対応付けられたポート上で学習された MAC アドレスを示します。

次に、Supervisor Engine 720 で特定の MAC アドレスの MAC アドレス テーブルに関する情報を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table address 001.6441.60ca
```

```

Codes: * - primary entry
      vlan  mac address      type   learn qos      ports
-----+-----+-----+-----+-----+-----
Supervisor:
* --- 0001.6441.60ca  static No  -- Router

```

次に、Supervisor Engine 720 で特定の MAC アドレスの MAC アドレス テーブルに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show mac-address-table address 0100.5e00.0128
```

```

Legend: * - primary entry
      age - seconds since last seen
      n/a - not available
      vlan  mac address      type   learn   age      ports
-----+-----+-----+-----+-----+-----
Supervisor:
* 44 0100.5e00.0128  static Yes    - Fa6/44,Router
* 1  0100.5e00.0128  static Yes    - Router
Module 9:
* 44 0100.5e00.0128  static Yes    - Fa6/44,Router
* 1  0100.5e00.0128  static Yes    - Router

```

次に、すべての VLAN に現在設定されているエージング タイムを表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table aging-time
```

```

Vlan   Aging Time
-----
*100   300
200    1000

```

次に、特定のスロットのエントリ数を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table count module 1
```

```

MAC Entries on slot 1 :
Dynamic Address Count:          4
Static Address (User-defined) Count: 25
Total MAC Addresses In Use:     29
Total MAC Addresses Available:  131072

```

次に、Supervisor Engine 720 で特定のインターフェイスの MAC アドレス テーブルに関する情報を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table interface fastethernet 6/45

Legend: * - primary entry
age - seconds since last seen
n/a - not available
  vlan  mac address  type  learn  age  ports
-----+-----+-----+-----+-----+-----
*  45  00e0.f74c.842d  dynamic  Yes  5  Fa6/45
```



(注) 先行アスタリスク (*) は、外部装置から特定のモジュールへの着信パケットに基づいて学習された MAC アドレスからのエントリを示します。

次に、特定のスロットの制限に関する情報を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table limit vlan 1 module 1

vlan  switch  module  action  maximum  Total entries  flooding
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----
1      1      7      warning  500      0      enabled
1      1      11     warning  500      0      enabled
1      1      12     warning  500      0      enabled

Router#show mac-address-table limit vlan 1 module 2

vlan  switch  module  action  maximum  Total entries  flooding
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----
1      2      7      warning  500      0      enabled
1      2      9      warning  500      0      enabled
```

次に、MAC-move 通知ステータスを表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table notification mac-move

MAC Move Notification: Enabled
```

次に、MAC-move 統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show mac-address-table notification mac-move counter

-----
Vlan Mac Address From Mod/Port To Mod/Port Count
-----
1 00-01-02-03-04-01 2/3 3/1 10
20 00-01-05-03-02-01 5/3 5/1 20
```

次に、CAM-table 使用率通知ステータスを表示する例を示します。

```
Router# show mac-address-table notification threshold

Status limit Interval
-----+-----+-----
enabled 1 120
```

次に、MAC 通知パラメータおよびヒストリ テーブルを表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table notification change
```

```

MAC Notification Feature is Disabled on the switch
MAC Notification Flags For All Ethernet Interfaces :
-----
Interface                MAC Added Trap  MAC Removed Trap
-----

```

次に、特定のインターフェイスの MAC 通知パラメータおよびヒストリ テーブルを表示する例を示します。

```

Switch# show mac-address-table notification change interface gigabitethernet5/2

MAC Notification Feature is Disabled on the switch
Interface                MAC Added Trap  MAC Removed Trap
-----
GigabitEthernet5/2      Disabled        Disabled

```

次に、unicast-flood 情報を表示する例を示します。

```

Switch# show mac-address-table unicast-flood

> > Unicast Flood Protection status: enabled
> >
> > Configuration:
> > vlan Kfps action timeout
> > -----+-----+-----+-----
> > 2 2 alert none
> >
> > Mac filters:
> > No. vlan source mac addr. installed
> > on time left (mm:ss)
> >
> >-----+-----+-----+-----+-----
> >
> > Flood details:
> > Vlan source mac addr. destination mac addr.
> >
> >-----+-----+-----+-----
> > 2 0000.0000.cafe 0000.0000.bad0, 0000.0000.babe,
> > 0000.0000.bac0
> > 0000.0000.bac2, 0000.0000.bac4,
> > 0000.0000.bac6
> > 0000.0000.bac8
> > 2 0000.0000.caff 0000.0000.bad1, 0000.0000.babf,
> > 0000.0000.bac1
> > 0000.0000.bac3, 0000.0000.bac5,
> > 0000.0000.bac7
> > 0000.0000.bac9

```

次に、特定の VLAN の MAC アドレス テーブルに関する情報を表示する例を示します。

```

Switch#show mac-address-table vlan 100

vlan  mac address      type      protocol  qos      ports
-----+-----+-----+-----+-----
100   0050.3e8d.6400      static   assigned  --      Router
100   0050.7312.0cff      dynamic   ip        --      Fa5/9
100   0080.1c93.8040      dynamic   ip        --      Fa5/9
100   0050.3e8d.6400      static   ipx       --      Router
100   0050.3e8d.6400      static   other     --      Router
100   0100.0cdd.dddd      static   other     --      Fa5/9,Router,Switch
100   00d0.5870.a4ff      dynamic   ip        --      Fa5/9
100   00e0.4fac.b400      dynamic   ip        --      Fa5/9
100   0100.5e00.0001      static   ip        --      Fa5/9,Switch
100   0050.3e8d.6400      static   ip        --      Router

```

次に、MLDv2 スヌーピングの MAC アドレス テーブルに関する情報を表示する例を示します。

```
Switch# show mac-address-table multicast mld-snooping
vlan mac address type learn qos ports
-----+-----+-----+-----+-----+-----
--- 3333.0000.0001 static Yes - Switch,Stby-Switch
--- 3333.0000.000d static Yes - Fa2/1,Fa4/1,Router,Switch
--- 3333.0000.0016 static Yes - Switch,Stby-Switch
```

下の表で、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 8 : show mac-address-table のフィールドの説明

フィールド	説明
Dynamic Addresses Count	MAC アドレス テーブルのダイナミック アドレスの総数。
Secure Addresses (User-defined) Count	MAC アドレス テーブルのセキュアアドレスの総数。
Static Addresses (User-defined) Count	MAC アドレス テーブルのスタティックアドレスの総数。
System Self Addresses Count	MAC アドレス テーブルのアドレスの総数。
Total MAC addresses	MAC アドレス テーブルの MAC アドレスの総数。
Destination Address	MAC アドレス テーブルに存在する宛先アドレス。
Address Type	アドレス タイプ (static または dynamic) 。
VLAN	VLAN 番号。
Destination Port	MAC アドレス テーブルに存在する宛先ポートに関する情報。
mac address	エントリの MAC アドレス。
protocol	MAC アドレス テーブルに存在するプロトコル。
qos	MAC アドレス テーブルに関連付けられる Quality of Service。
ports	ポート タイプ。

フィールド	説明
age	インターフェイスの最後のオカレンス後の経過時間（秒単位）。
Aging Time	エントリのエージング タイム。
module	モジュール番号。
action	アクションのタイプ。
flooding	フラッディングの状態。

関連コマンド

コマンド	説明
clear mac-address-table	MAC アドレス テーブルからエントリを削除します。
mac-address-table aging-time	レイヤ2テーブル内のエントリにエージング タイムを設定します。
mac-address-table limit	MAC 制限をイネーブルにします。
mac-address-table notification mac-move	MAC 移動通知をイネーブルにします。
mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック エントリを追加するか、アドレスの IGMP スヌーピングがディセーブルになっているスタティック MAC アドレスを設定します。
mac-address-table synchronize	レイヤ2 MAC アドレス テーブルのエントリを PFC およびすべての DFC 間で同期化します。
show mac-address-table static	スタティック MAC アドレス テーブル エントリだけを表示します。